

お・だ・が・い・は・ま

【題字は山形大学農学部タキタロウボランティアサークルのみなさんから書いていただきました】



第14号

平成20年1月15日

編集・発行

社会福祉 鶴岡市社会福祉協議会
法
鶴岡市西新町14-26
TEL 24-0053・FAX 23-9110
<http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100
羽黒福祉センター TEL 62-4534
櫛引福祉センター TEL 57-5300
朝日福祉センター TEL 53-2795
温海福祉センター TEL 43-3266

はたち 平成20年二十歳の ボランティア

特集 平成20年はたちのボランティア

* 目次 *

今、私たちにできること ～ボランティアを語る～ P 2~5
福祉のつどい開催 P 6~7
情報掲示板 P 8

明けましておめでとうございます。
市民の皆様には明るい希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

鶴岡市社会福祉協議会は合併から二年余を経て、それぞれの地域の特性を活かした福祉活動を進めながら合併の効果を高めるよう日々、努めているところであります。当協議会は、事業型社協の展開、地域福祉の推進、福祉サービスの向上、経営基盤の強化等に取り組み、使命を果たしていくたいと考えております。

地域社会では、コミュニケーション意識の希薄化が進み、これへの対応が大きな課題となっています。そのためにはコミュニケーションをベースとした住民参加型の福祉社会を形成していくことが必要と言われております。その一つの推進策としてボランティア活動が注目されております。政府の「国民生活選好度調査」によりますと、国民三人に二人がボランティア活動に参加すべきと考えておりますが、参加意向に比して実際の参加との間には大きなギャップがあります。当協議会としては、参加しやすい環境づくりに努め、市民の皆様に広く参加していただきたいと考えております。

明るい地域社会の形成のためには行政と市民、民間団体とのパートナーシップが必要であります。市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申上げます。



「住民参加型の
福祉社会への
確実な一步を」

会長 富権 穀

はたち 平成20年二十歳のボランティア

新春 トーク

今、私たちにできること ～ボランティアを語る～



参加者（左から）

東北公益文科大学
まちづくりサークル「もっしぇ。」
東北公益文科大学
ボランティアクラブ元部長
山形大学農学部
タキタロウボランティアサークル
鶴岡工業高等専門学校
「おもちゃの病院」
新潟大学
羽黒地区高校生ボランティアサークル「いすゞ」
山形大学農学部
タキタロウボランティアサークル
山形大学農学部
タキタロウボランティアサークル

高橋宏市郎さん
木村玄太さん
松崎真央里さん
木村大地さん
明石秀也さん
村山大輔さん
佐藤和希さん

司会 鶴岡市社会福祉協議会
総務課 山口咲子

場所 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま
駒蔵ばんけいおもてなし館

私たちの活動

ボランティアをやってみて

木村(大) 毎月第三日曜日に中央児童館で、子どもたちの壊れたおもちゃを無料で直す『おもちゃの病院』という活動しています。

松崎 私たち、山形大学タキタロウボラ
ンティアサークルでは、地域の方々から
要請を受けて朝日地区のお祭りやイベン
トのお手伝いを中心に、山王ナイトバザー
ルのお手伝いなどもしています。

木村（玄） 公益大学ボランティアクラブで、福祉施設の行事の手伝いをしたり、イベントの企画をしたり、幅広く活動し

高橋 公益大学まちづくりサークル『もつ
しえ。』で、酒田『大根市』の手伝いや、
『中和会』というまち中の集まりのコー-
ディネートをしたりして、まちづくりに
ています。

明石　自分は今、新潟に住んでいますが
出身は羽黒です。もともと羽黒地区にだ
関するお手伝いをしています。

司会では、活動を通して皆さんはどんなことを感じ、また、ボランティアをどのようなものだと考えていますか？

いると思います。専攻で物の動く仕組みは知っているつもりなので、おもちゃを直すことが人の役に立ち、技術者としての下積みになればと思つて始めたのが、今は、直すこと、直して喜ばれることも楽しいです。

佐藤 自分はボランティアという意識はなく、地域の人と遊びながら楽しく活動してきました。地域との交流を主としたサークルなので、つながりを感じるため、関わり続けるためにやっています。

村山ボランティア」というと「人助け」というような固定観念があるよう感じますが、人によって始める動機はさまざま

司会 明けましておめでとうございます
この度は、平成二十年という節目の年を
記念して、ボランティア活動を行つてい

けボランティアサークルがなく、中学三年の時の担任の先生から勧められて、高校時代にボランティアサークル『いすゞ』を立ち上げました。最初はボランティアをしようとかではなく、みんな高校がバラバラになってしまって、みんなで集まって活動できればいいなという想いでした。このサークルは今も羽黒の高校生が受け継いでいます。



まちづくりサークル「もっしぇ」
たかはしこういちらう
高橋宏市郎さん
(東北公益文科大学)
将来の夢
社会福祉士として社会の一員となりたい!

で、自分が楽しみたいという人もいれば、本当に人の役に立ちたいという人もいると思います。それが実際に活動することによって、相手側にとっても、自分たちにとっても、結果的に満足を得られるものであればボランティアとして成立すると思います。やりがいもあるし、いろんな人に知つてもらつて参加してもらえばもっといいものになるんじゃないかな。

松崎 私は庄内がすごく好きで、庄内のイベントには何でも参加してみたくて、「楽しそうだから参加しよう」とやつたことが、受け手にとってもはありがたいことで結果的にボランティアだつたという感じです。でも、自分も体験できることはありがたいこと。「大変そう」「楽しくないんじゃないか」とか聞きますが、そういうのはたぶんボランティアじやなくて、お互い楽しくてメリットがあるというのがボランティアだと思つています。

明石 私は、続けていくことって大事だと思うのですが、ただ単に自分たちがやりたいこと、好きなことだけやっていく



タキタロウボランティアサークル
むらやま だいすけ
村山大輔さん
(山形大学農学部)
日本の荒れた森林をどうにかしたい！
将来の夢

のではダメだと思うし、かといつて自分たちが無理しすぎても続かないと思います。活動の途中で、障害や問題が出てきて、それを一緒にやつている仲間たちと協力して乗り越えることで自分もサークル自体も成長できたり、そのうち自分のサークルだけでなく他団体の人と交流が広がつていつたり、すごく自然なものなのだと思つています。ボランティアのためには人が集まつて、交流して、楽しくやつていければいいと思います。

問題も仲間と共に乗り越え成長になります
明石秀也



おもちゃの病院
きむらだいち
木村大地さん
(鶴岡工業高等専門学校)
ロボット系かメカトロ系の機械技術者になりたい！
将来の夢

それから、うちの大学には福祉だけでなく、いろんな分野のボランティアサークルがあります。弱者を助けることだけがボランティアではないと思うので、ボランティア・福祉という誤解が少しでもなくなればいいなと思います。

明石 確かに形態は一つではないと思います。私たちの活動は、周りの人から見ると、いかにもボランティアをやつているなつて感じだつたと思うのですが、実際にやつてている時は、そんなに意識はしていなかつたです。最初、福祉施設の利用者の方に対して「どうやって接したらいいのかな」「言つてはいけないことがあるのかな」とか思つていたのですが、い



出会いや関わりから学びや
楽しみにつながると思います
木村玄太



タキタロウボランティアサークル
さとう かずき
佐藤和希さん
(山形大学農学部)
目の前に転がるチャンスに気が付けるアクティブな人に！
将来の夢

の間にかそんなに考えなくともいいものなのだと考えが変わりましたね。

高橋 障がい者や高齢者だけでなく、子どもや、僕たち自身も福祉に入ると思つてるので、自分たちと区別する必要はないんじゃないかと思うんです。今、福祉施設でやつてることも、昔は家で自

然にやつていたことですよね？やつぱり、福祉やボランティアは自然なものであつてほしいと願っています。



ボランティアは自然なもので
あってほしいと思います
高橋宏市郎

つながりから広がるボランティア

司会 ボランティアを通して、さまざま

な人との出会いや関わりの中で、多くのことを感じてこられたのですね。人と人とのつながりから、ボランティア活動を広げていくためにはどうしたらよいと思

いますか？

明石 一緒に活動する仲間の存在は大きく、大変なことも仲間がいるから頑張れると思います。でも、メンバーを増やすことは結構重大な問題でした。そこまでやつたのは、一緒に交流すること。いきなり会員になつてもらうのではなくて、ゴミ拾いにしても、一回限りでもいいので一緒に参加してもらう。イベントも、知り合いになるじゃないですか？

松崎 人數がいないと活動も狭まつてしまつてもいいかな？

もうのが残念ですよね。タキタロウボランティアサークルも、これから人員を増やしていきたいと思っています。体験でもいいからやつてもらえるようにしたいのかな？

村山 やれば楽しいし、やつた人は絶対に悪いとは言わないよね！

木村(玄) おもしろさを伝えるには喋つただけでは伝わらないよね。いくらおもしろい話を聞いても、休みの日にボランティアとバイトがあつてどつちに行きますかと言つて、ボランティアと言う人はやつぱり少ない。お金で物を見なければ、いくらでも参加してくれるのではないか

と思います。

高橋 『もつしえ。』でやつた勉強会の講師の方が、今の子たちは物事に対する興味が薄くなつてきてているのではないかと言つっていました。まず、相手から「何が好き？」って興味を引き出して、その興味がある分野について説いて、関わつてもうことが大事だそうです。

松崎 うちのサークルは、地域の人との交流を主にしているので、他県から来た学生にとっては、方言や文化の壁もある

ことは思いますが、それを覚えたいつつは思います。それが、それを見てもらつて、幅も広がりました。

木村(玄) 最初の頃は、大学の事務局を通してサークルや個人に連絡が来て、それから部員にメールを回し取りまとめをして活動していました。サークルで掲示板を作り情報を流したりもしています。

去年、大学に地域共創センター^(注)という施設ができたことをきっかけに、地域の人人が好きな時に来て「こういうことがしたい」「してほしい」と、直接話が出来るようにになりました。依頼の種類も増えて、幅も広がりました。

佐藤 人との交流があつてはじめて新しくなつて、地域でどの様にまちづくりをしていくかを研究している研究室の教授と、地域の人が仲良くなり、「何か手伝いはできないだろうか」というこ

の体験できることも広がつていくと思います。やつぱり人とのつながりが一番のやしたいと願っています。体験でもいいからやつてもらえるようにしたいですね。



人とのつながりが
一番の財産です
松崎真央里

とで発足したサークルで、地域の人から依頼を受けたことをやるという方向性のため、なかなか自分たちで計画するといつこまではいつていないです。

木村(大) 『おもちゃの病院』は鶴岡N HK局でやつていたフリーマーケットの中から誕生したのですが、ある仲のいい人たちが「フリマしたいね」「じゃあ、やろうか」と自分たちの手で始めた活動です。事情があつてこの春で終わつてしまつたのですが、周りの人からまた始めるのではないかという話がよくあります。その時、自分たちがまた始めるのではなく、「私たちでも出来たのだからあなたにもできるよ」と働きかけています。そういう市民の手で始めて、市民主導の活動がもつと起きやすくなればいいですね。

明石 私は高校時代に主に教育委員会や社協などから頼まれて活動をしていましたが、大学などではどういう段取りや計画で活動を進めているのですか？

木村(玄) 最初の頃は、大学の事務局を通してサークルや個人に連絡が来て、それから部員にメールを回し取りまとめをして活動していました。サークルで掲示



市民の手から始まる活動が
もっと起きやすくなればいいです
木村大地

いうとのつながりで生まれるものもあるんだなって思いました。



交流から新たな活動が生まれると思います
佐藤和希



タキタロウボランティアサークル
まつざき まおり
松崎真央里さん
(山形大学農学部)

将来の夢
庄内米の美味しさを全国に
アピールしたい!



ボランティアクラブ元部長
木村玄太さん
(東北公益文科大学)

将来の夢
助け合いの精神を世界中に
広げたい!



羽黒地区高校生ボランティアサークル
「いすゞ」元代表
あかし しゅう や
明石秀也さん
(新潟大学農学部)

将来の夢
地元に恩返しをしていきたい!



喫茶ボラの神保さんと成田さん



★平日は午前10時から午後5時まで。市内の作業所製品の展示販売もしています。本格コーヒーに焼きたてのパンとおいしいデザートもあります。

活動の未来

司会 それでは、最後に、これから活動がこんな風になつたらしいなと思うことや、こんなことをやってみたいということはありますか？

明石 何かを作つていく時期は、大変でもあるけど楽しい時もありますよね。
木村(大) 友達の中からできたフリー マーケットは、外とのつながりがなかつたからなかなか広がつていかなかつたんです。たくさんの人とのつながりが活動を広げていくのでしようね。

村山 ボランティアに対する世間の人のイメージもまだ。知つてもらうことには、身近に感じて参加してもらうことが一番の近道だと思います。それで本当のボランティアが分かつて、抵抗はなくなるのでは？一般の人に浸透して違和感がなくなることが重要だと思います。身近な人から引き込んで、どんどんボランティアの輪を広げたいですね。

高橋 自分自身が活動を続けていくことはありますか？

木村(大) 大きな掲示板に「～したいの手伝ってくれる人集まつて下さい」と書いたら、いろんな人が集まつてくれるのが理想です。その中に「～始めたのと一緒にやってみませんか？」というのにも人が集まるようになつたら嬉しいです。そうなつたら楽しいですね。

村山 ボランティアに対する世間の人のイメージもまだ。知つてもらうことには、身近に感じて参加してもらうことが一番の近道だと思います。それで本当のボランティアが分かつて、抵抗はなくなるのでは？一般の人に浸透して違和感がなくなることが重要だと思います。身近な人から引き込んで、どんどんボランティアの輪を広げたいですね。

司会 皆さん本日はどうぞざいました。

◀喫茶ギャラリー
かたぐるまでは、
土日はボランティアの皆さんのが活躍しています。
おいしいコーヒーとデザートごちそうさまでした。

佐藤 何かのイベントの要請があつて、常に掲示板にかかっているような感じであれば、学生があまり抵抗なくボランティア活動をすることができると思います。もっと参加しやすい環境を作るため、自分もしっかり宣伝していきたいと思っています。

木村(玄) 今、『ちょボラ』ってポスターとかで啓発していますが、地域の中のつながりが薄くなり、ネーミングを付けて「ボランティアやろうよ」って誰かが言いました。今日は、皆さんボランティアをして、庄内のために頑張つてくれていて感動しました。

木村(玄) 今、『ちょボラ』ってポスターとかで啓発していますが、地域の中のつながりが薄くなり、ネーミングを付けて「ボランティアやろうよ」って誰かが言いました。今日は、皆さんボランティアをして、庄内のために頑張つてくれていて感動しました。

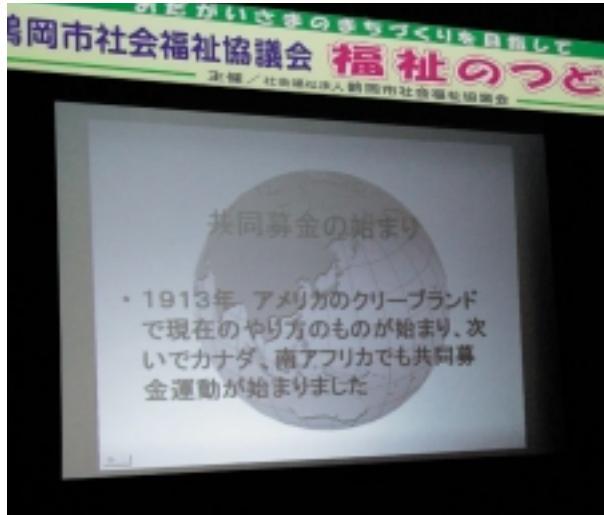
私が地域に住んでる人のまちづくりの『きっかけ』を働きかけていたらいのかなと思っています。



身近に参加してもらって
ボランティアの輪を広げたいです
村山大輔

開催 おだがいさまのまちづくりを目指して

皆様に地域の福祉に関心をもつていただけたよう、町内会



共同募金は、助け合いの精神から一九一三年にアメリカで始まり世界四十五カ国で実施されています。日本では戦後まもなく一九四七年（昭和二十二年）に世界で四番目にスタートしています。

募金の方法は、

平成19年11月15日(木)、鶴岡市中央公民館で「福祉のつどい」を開催しました。地域住民の方々や関係団体の皆さんと協働し「おだがいさまのまちづくり」を進めていくための大変よい機会となりました。当日は悪天候にも関わらずたくさんの方々からご来場いただき誠にありがとうございました。

鶴岡市社協の活動紹介／赤い羽根共同募金



プログラム

13:00 オープニング

- 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまの皆さんによる歌
挨拶 鶴岡市社会福祉協議会 会長 富樫 育
表彰 福祉功労者への感謝状の贈呈
祝辞 鶴岡市長 富塚陽一 氏
- 13:40 市社協の活動紹介
赤い羽根共同募金の活動について紹介します
- 14:20 講演
演題「病気が教えてくれたこと～地域について～」
講師 NPO法人武久塾 塾長 武久明雄 氏
- 15:30 閉会



講演

講演題 「病気が教えてくれたこと～地域について～」
NPO法人武久塾 塾長 武久明雄 氏

プロフィール

医療・福祉・教育場面で活動するNPO法人「武久塾」塾長。1959年生。自動車のピストン製造会社に勤務していた2002年釣りに行った秋田県で倒れる。病名：脳幹出血、3日間昏睡、後遺症は全身麻痺、声も出ない、どうしようもない天命、死亡率の高い病気から命は助かったが、心はぐちゃぐちゃだった。～NPO法人武久塾ホームページより抜粋～著書「ベッドの上のひとりごと(脳卒中というプログラムミス)」

分かつてもらおうと嘆いても、体は元に戻らない、誰かが代わってくれる訳ではないと気が付きました。妻と二人で良い時と悪い時とを繰り返していくと、その不安定さが息子に伝染してしまいました。それを見て、自分を嘆くより、息子を一人前にしなければならないという思いに駆られました。暗闇の中でろうそくの光が明るいように、闇の中に入るからこそ見える光があります。失わなければ見えなかつたこともあります。障がい者になつてはじめて「おだがいさま」という気持ちの大切さが分かりました。社会の中で自分にも出来ることをしたいと思って武久塾を立ち上げ、幼稚園などの福祉教育の場面で子ども達に「人間にリセットボタンは無いんだよ。みんな一つの身体、一つの命なんだよ。だからみんな仲良くやつていいこうね。」と伝えています。

まつて生きていてもしようがない」と思う時もあれば、時には家族の健康さえも羨ましく、「動けなくなつてしまつて生きていてもしようがない」と怒鳴ると、目にいっぱいの涙をため思つ日もありました。ある時、妻に「お前に動けない人の気持ちが分かるか！」と「分かる訳ないわよ。私、動けるもん。」と言いました。自分の切なさを



福祉のつどい



庄内インシュタインの会
「軽度発達障害児等の集団指導教室事業」を毎月2回開催し、療育訓練などを行いました。



児童養護施設七窪思恩園 車輌購入に役立てられ、子ども達の 送迎に活用されています。

福祉のつどいでは、実際に配分を受けた三つの団体から、配分金がどのように役立てられているかスライドを使つて紹介していただきました。

平成十八年度は、ボランティア・NPO団体のほか、小規模作業所や社会福祉法人など十四件が配分を受けました。また、鶴岡市社会福祉協議会では、小中学生のボランティア体験のためのサマー・チャレンジ事業などに活用させていただきました。

集められた募金は、県共同募金会に送られ、そこから直接鶴岡市の福祉団体やボランティア団体などへ配分されるほか、鶴岡市社会福祉協議会が実施する地域福祉事業に配分されます。

を中心に協力をお願いしているほか、より多くの方からの協力をいただけるよう街頭、学校、職場などにもお願いをしています。

毎年皆様から多くの善意を頂戴していますが、平成十八年度の鶴岡市の募金実績は、約一九〇〇万円でした。ありがとうございました。

長年、地域福祉に尽力された方などに富樫会長より感謝状を贈呈しました。



鶴岡市ボランティア連絡協議会（鶴岡）

情報紙「キヤッチボール」の発行や、庄内ボランティアフェスティバル、災害ボランティア関係

☆受賞者からのコメント
「十周年の節目に表彰いただきました。環境・災害・教育とボランティアの活動分野は広がっています。安全で安心な街づくりのため、今後も力を合わせていきたいと思います。」

朝井あき氏（藤島）

民生児童委員を退任後、一人暮らし・夫婦のみの高齢者世帯の相談相手や、民生児童委員と協力しながら在宅や施設でのボランティア活動を行い地域福祉の向上に尽力。

☆受賞者からのコメント

山本百合子氏（羽黒）

「幸せを分かち合いありがとう」と言い合える様に、日々努力している一人暮らしの老人の一人です。これからも美しく老いてゆきたいと念願しながら・・・。

小野寺一郎氏（朝日）

黒川中区いきいき健康クラブ（櫛引）

自分達も一緒に楽しみながら活動してきました結果いただいた賞です。今後も気負わず活動していきたいです。」

閉じこもり防止と仲間作りの実践、児童福祉施設での奉仕活動などに従事。

「大げさに何かをしている訳ではなく、
☆受賞者からのコメント

一人暮らし高齢者等の話し相手や見守りなどの活動の傍ら、ミニアイサービス事業で活躍するほか、子育てサポート事業などで、地域福祉の推進に尽力。

五十嵐一彦氏（温海）

知的障害者通所授産施設「もみじが丘」のオリジナルソング「やさしさにつつまれてもみじが丘の歌」を作曲。地域での発表や交流の場面で歌われ、その活動が障がい者への理解につながると共に利用者の心の支えとなる。

☆受賞者からのコメント

「もみじが丘の歌の制作に一緒にご協力いただいた作詞の本間施設長をはじめ、佐藤精三氏、脇川憲氏、職員の皆様方に心から感謝申し上げます。」

